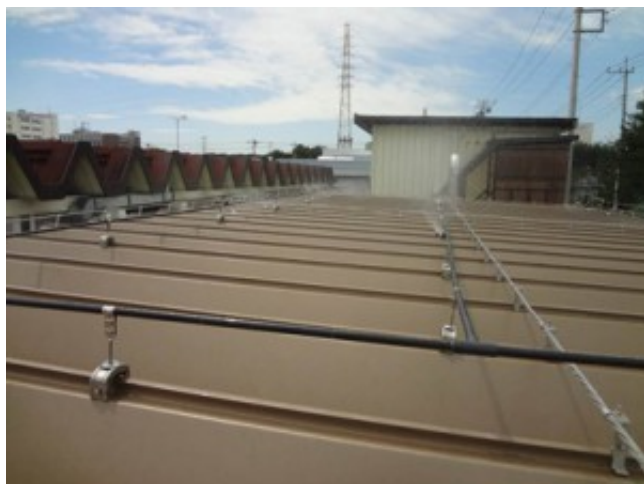


## 東洋インキSCの危険物倉庫に初適用 三井住友建設、屋根散水で室温下げ実証

Edited By LogisticsToday On 2014/11/17



三井住友建設（東京都中央区）は、東洋インキSCホールディングス（埼玉県坂戸市）の危険物取扱施設に屋根散水システムを適用し、室温を10度下げる効果を得たと発表した。

このシステムは、屋根に散水し、蒸発冷却効果を利用して温度を下げるもの。これにより、屋根からの熱負荷と放射熱がなくなり、少ないエネルギーで室内の温度を下げる事が可能。設置する前後で比較すると、設置前は室温が37度以上あったのに対し、設置後は10度以上低下し、外気温より低下することを確認した。

制御をパッケージ化することで、工事費の削減や工期の短縮につながるるとともに、必要な電力を内蔵する太陽光パネルで供給する。商用電力を使用しないため、CO2を削減できる。同社は今後、「このシステムの導入を拡大する」としている。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/132971>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.